

一歩、一歩、散歩

「コロナ禍が続いて1年半、もう少し我慢が必要な毎日です。そこで、今回は「分散歩のススメ」と称して、京築の自然を満喫していただける特集を企画しました。

平尾台山系のたおやかな山々、北豊連山の修験の峰々、海あり、野あり、新緑に誘われて、さあ、一歩、二歩、散歩。今こそ京築の自然を歩こう！



分散歩のススメ



CYCLE BUZEN

山あり、海ありの自然豊かな景色が広がる豊前市を自転車で走ること、豊前市を肌で感じることができます。

豊前市観光協会では自転車の貸し出しを行っていますので、自転車をお持ちでない方も気軽に楽しむことができます。また、初心者から上級者まで、幅広い層の方に楽しんでいただけるよう7つのモデルコースが用意されています。SNS映えすると話題の「大きな椅子」や、「うみてらす豊前」、「ト仙の郷」、夏には「畑冷泉館」など、豊前市の魅力を感じられるスポットが満載です。この夏は自転車で豊前市をめぐるってみませんか？

(レポーター/おまる)

[問] 豊前市観光協会 [☎] 0979-53-6660



今こそ自然を歩こう！



Toyonokuni Keichiku 2021 July

©IZUMI HARAGA



けいちく検定 飲み物編

京築ドリンククイズ



【問1】
焼酎「美夜古紫」に
使われる原料の野菜
な〜んだ？



【問2】
行橋産山田錦で作った
日本酒を販売中の
お店の名前な〜んだ？



【問3】
標高500メートルの
山間で育ったお茶と
いえるな〜んだ？



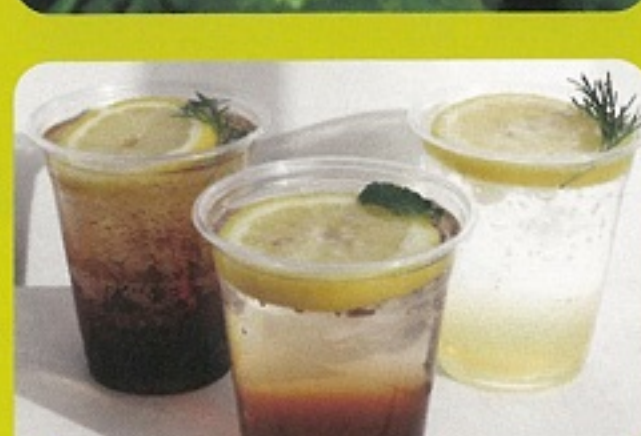
【問4】
築上町特産のイヌ
リンが豊富な食材の
お茶はな〜んだ？



【問5】
地域おこし協力隊O.G.
が作る、ドリンクにも
なるシロップがある
お店の名前な〜んだ？



【問6】
野草の里上毛町の
この野草で作られる
お茶な〜んだ？



【問7】
月ごとにメニューが
変わる、双子の姉妹が
経営するカフェの
名前な〜んだ？

woo's cafe (7問) 美夜古紫 (9問) 聖徳神社 (5問)
美夜古紫 (4問) 美夜古紫 (2問) 美夜古紫 (1問) 美夜古紫

京築元氣もん



みやこ町郷土史研究会副会長
やまとこく とよのくに
「耶馬臺國は豊國にあり」著者
よしとけ まさかず
吉武 正一さん

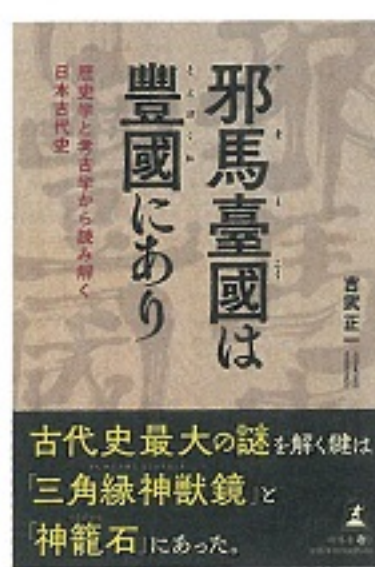
「京都郡」という地名に魅せられて60年

昭和18年(1943)生まれ。大学を卒業後、東京で就職。勤務期間が終わり、両親のお世話をするため15年前に帰郷。豊津高校時代から持ち続けた興味と疑問の本格的な謎解きを始める時間が生まれました。そこで、半世紀以上温めてきた資料や情報を分析・精査してまとめ上げ、昨年11月に幻冬舎から「やまとこくは とよのくににあり」を出版。興味をそそる1冊です。

平成7年(1995)阪神淡路大震災の際にはボランティア活動に参加。この時の体験から「帰宅難民の会」を立ち上げ、自らの足で歩いて自宅まで帰ろうとサバイバルウォークを呼びかけ実践し、活動は現在まで続いています。また、かずら筆作りの職人でもあります。明治のはじめ、小笠原藩の書家であった下枝董村が、みやこ町犀川で考案した藤カズラの筆。平成17年(2005)吉武さんにより復活。内外の多くの書家に愛用されています。また、町内の中学校では、かずら筆を使用しての授業も行われています。

平成21年(2009)からは、スターコーンFMで週1回「京築の古代史のすごさ」を発信しており、連続500週を記録しています。この他にも帆柱茶の栽培など、多くの活動をされている吉武さん、これからお元気でご活躍を楽しみにしております。

(レポーター/とらバアバ)



話題のお店
Keichiku Gourmet

パンヤ ヨナガ

シンプルで配合でお客様の好みに合ったパンを作り続けて早くも10年目。ご近所はもちろん行橋市や大分県宇佐市からのリピーターもいてとても嬉しいです。

最近は朝食に塩パンやシード(ゴマ・カボチャ・ケシの実)パンが人気。キャラメル・ブルーベリー・チョコなどのペーグルもイチオシ。ぜひ一度お立ち寄りください。(レポーター/ヒメジャガ)

Shop Information
[住] 豊前市大字香川576-2
[☎] 0979-64-7678
[営] 10:00~18:00 [休] 日・月曜 [P] あり



初めて本誌の編集に携わり、文字で想いを伝える難しさを改めて感じました。コロナ禍で外出が困難な状況が続いていますが、誌面を通して、少しでも夏の京築地域を旅する気分を味わって頂ければと思います。(レポーター/マキマキ)

京築応援団便り
豊のくに けいちく

「京築応援団」団員募集中！(入会無料)

京築を応援するファンクラブに入ませんか？
お申し込みは「京築まるごとナビ」から

発行：京築連帯アメニティ都市圏推進会議事務局(福岡県広域地域振興課内)
企画編集：京築応援団会報編集委員会、豊の国海幸山幸ネット
問い合わせ：福岡県広域地域振興課 ☎812-8577 福岡市博多区東公園7番7号
TEL.092-643-3178 / FAX.092-643-3164 / E-mail.koiki@pref.fukuoka.lg.jp



吉富町

鈴熊山ウォーキング

豊かな自然との一体感を満喫できることから、「福岡県森林浴100選」にも選ばれている町を代表するヒーリングスポット。鈴熊山全体が公園となっており、松林や竹林、それをめぐるならかな遊歩道や展望広場を備えた園内は、木々のざわめきや鳥のさえずりを聞きながら散策するのにぴったり

です。また、ふもとの「どんぐり広場」は芝生敷の広場に複合遊具を備えており、山頂には国指定の重要有形文化財となっている「薬師如来坐像」を本尊とする鈴熊寺が建立されており、散歩から歴史散策まで幅広く楽しめる公園になっています。

(レポーター/ケイトウボーイ)

【住】吉富町大字鈴熊224番地外
【問】吉富町役場 【☎】0979-24-4073

分散歩のススメ



築上町

フットパスコース

小径や遊歩道を歩くフットパス。フットパスとは『森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと【Foot】ができる小径【Path】』のことで、

イギリス発祥といわれています。観光スポットを取り入れた7つのコースを設定。町唯一のキャンプ場を通る「さわだキャンプ場コース」や樹齢約1900年といわれる日本第4位の巨木がある「下本庄おおぐすコース」など、春には桜、秋には紅葉、それぞれのコースごとに四季折々の景色が楽しめます。

また、地域の人との出会いも魅力の一つです。各コース約4kmのため、ゆっくり歩いても1時間半ほどで周遊することができます。地域の隠れた魅力を探してみませんか？ (レポーター/うめといと)

【問】築上町役場 【☎】0930-56-0300



上毛町

大池公園

上毛スマートインターチェンジに隣接する「大池公園」は、大池を周回するおよそ1500mの遊歩道とログハウス、アスレチック広場が設置されている自然豊かな公園です。

平成28年(2016)度から遊歩道の再整備を行い、安全で歩きやすい遊歩道ができたことにより、散歩やランニングに訪れる利用者は年々増えています。昨年6月に完成した「親水テラス(野外ステージ)」は、約1400㎡の広さがあり、新たな水辺空間として、多くの人が集まる憩いの場として利用できます。

(レポーター/ギョン)

【住】上毛町大字下唐原2335-1
【問】上毛町役場 開発交流推進課 【☎】0979-72-3111

みやこ町

じゃぶち森のビレッジ

じゃぶち森のビレッジは、令和元年(2019)7月1日にリニューアルオープンし、福岡県森林浴100選にも選ばれた自然豊かなキャンプ場です。標高400メートルのところであり、暑い夏でも快適に過ごすことができます。キャンプ場内はバンガロー棟・コテージ棟・囲炉裏棟やキャンプファイヤー場も整備されており、一年を通して利用可能です。また、デイキャンプ場も併設されているのでキャンプ初心者の方や日帰りの方でも気軽に楽しめます。さらにキャンプ場周辺は、ウォーキングやサイクリングにも最適な環境です。夏休みは、じゃぶち森のビレッジで自然を満喫してみませんか。

【住】みやこ町犀川帆柱969番地1
【問】じゃぶち森のビレッジ管理棟 【☎】0930-45-7011
【予約】予約専用ダイヤル 【☎】0120-45-7055



(レポーター/バル)

行橋市

長井浜公園

周防灘に面した遠浅の海岸が続き、内海の穏やかな風が吹く美しい長井の浜。そこに、令和2年(2020)7月にオープンした「長井浜公園」では、季節毎にビーチバレーやビーチサッカー、シーサイドハーフマラソン、マリナクティビティなどのスポーツやイベントが開催され、年間を通して市内外の方々の憩いの場となりつつあります。また併設されている、地元食材を使ったライスバーガーなどが食べられる「水平線の見えるカフェ」もおすすです。ぜひ遮るもののない水平線を間近に観ながら、癒しのひとときを過ごしてみてください。

(レポーター/マキマキ)

【住】行橋市大字長井
【問】行橋にぎわいづくりパートナーズ 【☎】0930-28-9008

苅田町

天然のクーラー 青龍窟

等覺寺白山多賀神社の奥の院・青龍窟は、平尾台の鍾乳洞の中でも最大級の規模を誇ります。東洞口から射し込む太陽光に冷気が白く輝く様は、まるで異空間のよう。昭和37年(1962)に国の天然記念物に指定されました。

青龍窟へは苅田町白川の谷または山口地区より、曲がりくねった山道を車で山口分校跡近くの駐車場まで上ります。その後、未舗装の林道を徒歩で40分。洞口ホールは観光化されておらず洞内には照明設備もありませんので、入ることができるのは豊玉姫を祀る祭壇近くまで。天然のクーラーで英気を養い、リフレッシュして真夏とコロナを乗り切りましょう!!

(レポーター/木実原)

【住】苅田町山口
【問】苅田町観光協会 【☎】093-434-5560



ふるさとミュージアム

修験と神楽のミュージアム

豊の国京築かるた紀行 いちじく(行橋市) 召し上がれ いちじく行橋 自慢の味

8月中旬ごろに旬を迎えるイチジクです。が福岡県の出荷量は全国第5位。京築地域で栽培されているのは「蓬萊柿」と「とよみつひめ」の2品種です。その中でも行橋市新田原地区を中心に栽培されているのが「蓬萊柿」で、出荷量は行橋市が県内1位です。甘味が強く、生産量も少ないことから希少性もある「蓬萊柿」ですが、なぜその名に「柿」という字がついているのでしょうか？その理由によつて中国から持ち込まれたことに由来します。当時甘い果物といえは、柿くらいしかなかった時代イチジクの柔らかな甘さに感動して「蓬萊柿」という名が付けられたといつてことです。

また新田原地区は、イチジクだけでなく、桃や梨の栽培も盛んな果樹園地帯で、大正昭和初期に五島列島から移住してきた方、トリック信託が開墾した地域です。大正15年(1926)にトリス修道院が新田原につくられ、昭和8年(1933)には美しい尖塔を持つ旧聖堂が完成します。重機もない時代の開墾は苦難の連続であったようですが、聖堂を仰ぎ祈りを捧げながら、人々は実り多き大地を創り上げます。その大地に育つ「蓬萊柿」の木は大きくなり、棚栽培で手間もかかる品種だといつていますが、新田原の人々は、持ち前の根気でおいしく育て上げています。



▲蓬萊柿

▲とよみつひめ

応援団ひろば

京築神楽をYouTubeで配信しています!

京築連帯アメニティ都市圏推進会議では、京築神楽のオンライン配信を行っています。

コロナ禍で多くの奉納や公演が中止になる中、京築神楽7団体の協力のもと、京築の大切な伝統文化を守り続ける神楽団体の皆さんの思いを多くの人にお届けしています!

普段は見ることができない練習風景や神楽の伝統を守りつづける人々の思いなど、京築神楽の裏側を垣間見ることができます。ぜひご覧ください。

「京築 神楽の里」で検索



●問い合わせ先
京築連帯アメニティ都市圏推進会議事務局(福岡県広域地域振興課内)
【☎】092-643-3178



ふるさと瓦版

寒田話

築上町寒田

さわ だ ばなし

民話瓦版は、築上町椎田に伝わる「鬼塚」から始めて京築を一巡しました。二巡目のスタートは、同じく築上町寒田に伝わる「寒田話」をご紹介します。

寒田地区は、鎌倉時代から戦国時代にかけて豊前国、京築一帯を四百年間治め

寒田の民に
慕われていた
宇都宮鎮房

ていた宇都宮氏が、城井氏と名乗り拠点にしていた城井谷（上城井地区）の最も奥にある地域です。

英彦山や求菩提山に連なる岩山に囲まれた谷間の里に伝わる「寒田話」は、辺鄙な場所に住む里人が言葉や事柄を知らないために失敗する「愚か村話」として伝えられています。実は誇り高き里人たちが生み出した知恵と勇気が詰まった笑い話です。寒田話を語る前に、城井谷に生き慕われた宇都宮氏の物語をお伝えしましょう。



武家の名門、宇都宮氏は、平氏が滅びると源頼朝の命を受け豊前国に入国し、みやこ町木井馬場の神楽山に城を築きました。その後、築上町の城井谷に移り住み、南北朝の勢力が拮抗する中、豊前国の守護となりますが、南朝方に着き次第に力を失っていきます。

戦国の世となり、天下統一を目指す豊臣秀吉は黒田官兵衛に豊前国の領地を治めることを命じ、城井谷の民に慕われていた宇都宮鎮房を城井谷から遠ざけるため伊予へ国替えを命じます。

しかし、先祖伝来の地を守りたい鎮房は、秀吉の命令を拒否し黒田と戦います。天然の要塞である城井谷を拠点に勇猛な鎮房・朝房親子は、岩丸の戦いで黒田軍に勝利。抵抗を続ける宇都宮と黒田は和議を結ぶことになり、鎮房の娘鶴姫（千代姫）は黒田へ嫁ぎ、息子の朝房は黒田の家来として仕えますが、黒田長政は鎮房を中津城に招き謀殺。鶴姫や朝房も殺され、宇都宮家は滅びてしまうのです。城井谷は、中津に城を築いた黒田の領地となり厳しく監視されます。宇都宮と関係が深い里人たちは、黒田氏に反旗を翻す恐れは無いと安心させるために、わざと馬鹿なふりをして対抗した姿が寒田話なのです。

黒田はやがて筑前に移り、その後、細川、小笠原が入部します。寒田話には、中津、小倉や椎田の人が登場するなど、幾通りかの話がありますが、時代の移り変わりとともに、面白おかしく少しずつ変化していったようです。

面調べ

昔、中津の殿様が、面調べに寒田にいったち。「面ちゆうのは土地の面(帳面)のこと」と庄屋に言うた。すると庄屋はとぼけちから板の木でつくった神楽面を並べち、「お殿様ご覧の通りでござります。ご存分にお調べくだされ」ちゆうた。お殿様は呆れてしもったが、先祖伝来の面がすばらしくて、そんな晩は庄屋ん家に泊まってしもったと。

翌朝、神楽舞つち、ピーヒョロロやったとき、そんな土地を調べんと庄屋の家に泊まったち。そんな翌日は牛連れてきち、牛に喧嘩をやらせてみせたち。

そうしたらお殿様は、「寒田は結構じゃ」ちゆうたもんやけ、お供の者は、とうとう寒田の面調べは取り止めじゃち中津に帰ったそう。



殿様の火の玉が飛ぶつち

寒田んもんが中津に行つち、蚊帳を買うていぬる途中、火の玉がついてきたち。寒田に戻つて蚊帳を吊してお経を唱えたら、火の玉はどこかに飛んでいつてもうた。火の玉は夜になると中津の方から国見峠を越え寒田ん方へ飛んできて、鳥井畑の峰の上を越え中津に戻るそう。中津で黒田に騙し討ちされた城井の殿様の火の玉じゃちゆわれちよる。

そこで寒田のもんは、一つだけ蚊帳を反対に吊したち。それを見たよそもんは、「ほう、寒田のもんは、蚊帳を反対に吊つて、寝るときや上から飛び込むんやろか」ち、言いふらしたち。「殿様の火の玉が入りいよう吊つとるだけじゃ」ち、ゆうけん驚いたそう。寒田のもんは、火の玉見ても殿様に会えるちゆうて恐ろしがらん。そげん慕われて城井の殿様も幸せもんじゃのう。

へこをばずしてカニを食う

椎田の米吉の娘は、寒田に嫁にいつて驚いた。魚は塩漬けだけで生のもんはねえ。嫁は、生の魚を食うたことがねえ婿さんに、椎田の実家で魚を「馳走したち」ところが婿さんはアミ漬けしか食わねえ。そこで翌日はカニを出して「馳走したち」そう。

「こんカニは美味えけえ、喰つてくれない」ち、嫁さんが勧めたが、婿さんは箸をつけようとせん。「カニは、まずへこを外しち喰うもんじゃ」ち嫁さんが教えたら、婿さんはへこを外してカニをつつきはじめた。婿さんに挨拶しようとした米吉はたまげて、「こりゃ婿どん、寝るのはまだ早いけん、へこはつけてくれんねえ」ちゆうて、嫁さんと呼んだそう。嫁さんは顔を赤こうしち、「お前さんのへこじゃのうて、カニのへこのことじゃ。早うへこをつけない。」ち、ゆうたち。



平成16年(2004)に廃校になった寒田小学校では、平成7年(1995)から平成16年(2004)まで宇都宮氏の歴史や寒田話を「寒田劇」として9作上演しました。教師と子どもたちは、山城を探索し、地域の方から聞き取りしながら発見した、寒田の村人の真実の姿を脚本に込めていきました。それらの実践は、「僻地の課題を解決する『寒田劇』を中心とした想像力豊かな数多くの実践」として博報堂が主催する博報賞にも輝きました。

「寒田話は、寒田の村の人たちが知恵を出し合い、わざと物知らずなふりをして権力に立ち向った話です。しかし皮肉なことに、山村で一生懸命に生きた人々を物知らずの田舎者だとバカにする話として伝えられてしまいました。私たち寒田小学校の

全員は、本当の寒田話を一人でも多くの人に知ってもらうため、この創作劇に取り組みました。」と、語った文章が残されています。寒田小の6年間、「寒田劇」を演じた子ども一人である寒田神楽講の栗田徹さんは、寒田劇の思いを受け継ぎ、寒田の地で神楽を舞い、地域を支えています。令和3年(2021)3月、上城井ふれあい協議会(山内守会長)では、宇都宮氏と寒田話を次世代に伝えるために、絵本「かみきいゆかし」を出版しました。寒田話の団結力は、上城井の地に今もしっかりと受け継がれています。

参考文献

「吉四六・吉語・寒田ばなし」鵬和出版2000 宇都宮泰長
「築城町誌」下巻 築上町
「かみきいゆかし」2021 上城井ふれあい協議会
「かみきい虎の巻」2020 上城井ふれあい協議会